



2026年度

弘前大学大学院保健学研究科  
保健学専攻（博士後期課程）

# 学 生 募 集 要 項

（一般選抜・外国人留学生特別選抜）

弘 前 大 学

# 目 次

## I 一般選抜（2026年度春季入学）

I－1. 募集人員等	1
I－2. 出願資格	1
I－3. 事前相談	2
I－4. 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置	2
I－5. 出願資格の認定審査	2
I－6. 出願手続等	4
I－7. 出願書類等	4
I－8. 入学者選抜方法	5
I－9. 選抜試験の日時及び試験会場等	6

## II 外国人留学生特別選抜（2026年度春季入学）

II－1. 募集人員等	7
II－2. 出願資格	7
II－3. 事前相談	8
II－4. 出願資格の認定審査	8
II－5. 出願手続等	9
II－6. 出願書類等	10
II－7. 入学者選抜方法	11
II－8. 選抜試験の日時及び試験会場等	11

## III 合格発表・諸手続き・制度

III－1. 合格発表	12
III－2. 入学手続等	12
III－3. 長期履修制度について	12
III－4. 個人情報保護について	13
III－5. 被ばく医療コースについて	13
III－6. その他	13
III－7. 書類提出先・問い合わせ先	14

### (資料)

各領域の担当教員と研究テーマ	15
お知らせ	19

# 弘前大学入学志願者の入学検定料の免除について

弘 前 大 学

災害により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

弘前大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、2025年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

**入学検定料の免除を希望される方は、申請前に必ず保健学研究科学務グループまでご連絡ください。**

## 1. 免除対象となる入学者選抜試験

2025年度に実施する学部入試（編入学入試を除く）及び大学院入試（科目等履修生、研究生及び聴講生は対象外となります。）

## 2. 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、東日本大震災（平成23年3月11日発生）及び2025年度に災害救助法が適用された地域で被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者が居住していた家屋（自己所有に限る）が、全壊、大規模半壊、半壊、流失と認定された方  
東日本大震災においては、岩手県、宮城県および福島県の全市町村並びに青森県、茨城県、栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住しており、居住していた家屋が上記の被害認定を受けた方
- (2) 学資負担者が震災により死亡又は行方不明になった方
- (3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難地域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された方

※ 2025年度災害救助法の適用を受けない地域であっても、罹災証明書等の提出により対象となる場合があります。

## 3. 申請の方法

事前に電話等で問い合わせてください。免除対象と判断された方は、所定の申請書に証明書類を添えて、出願書類とともに提出してください。この場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。

諸事情により出願時まで証明書類が準備できない場合は、一旦入学検定料を払い込んで通常の出願を行い、後日証明書類が準備でき次第、申請書類を提出してください。許可となった場合は、払い込まれた入学検定料を返還いたします。

#### 4. 申請書類

(1) 「入学検定料免除申請書」

(本学ホームページからダウンロード (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>))

(2) 証明書類

① 「罹災証明書」(コピー可)(上記2の(1)に該当する方)

② 「死亡または行方不明を証明する書類」(コピー可)(上記2の(2)に該当する方)

③ 「被災証明書」(コピー可)(上記2の(3)に該当する方)

※ 入学検定料免除の要件に該当するか判断できない場合(学資負担者が自己所有する家屋かどうか判断が困難な場合など)には、追加で証明書類の提出をお願いすることがありますのでご了承ください。

#### 5. 許可または不許可の通知について

(1) 許可者には、受験票を送付(インターネット出願の場合は受験票をダウンロード)することで決定通知書に代えさせていただきます。(一旦、通常の出願を行った後の申請の場合は、入学検定料の「払戻請求書」を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。)

(2) 不許可者には、別途通知いたします。

この場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。(受験票の送付は、払い込みが確認された後となります。)

#### 6. その他

(1) 入学検定料の免除申請の手続き(事前連絡を含む)をせずに検定料を払い込んだ場合は、検定料の返還はできませんので、ご注意ください。

(2) 2025年度に災害救助法が適用された地域で被災された場合であっても、すでに出願期間が終了している入学者選抜試験については、入学検定料の免除はできません。

(3) 入学検定料の免除を許可された方であっても、申請に虚偽があった場合は、許可の日にさかのぼってこれを取り消します。その場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。

(4) 入学料及び授業料の減免等については、本学の「入学料及び授業料の減免等制度」への申請が別途必要になります。

(5) 本件について、不明の点がありましたら、下記に問い合わせてください。

(本件に関する書類提出先・問い合わせ先)

〒036-8564 弘前市本町6番地の1

**弘前大学保健学研究科学務グループ**

TEL : 0172-39-5911

FAX : 0172-39-5912

# 弘前大学大学院保健学研究科（博士後期課程） 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

## ◎保健学専攻

### 1 概要

#### （1）基本理念

保健学は、人間を身体的・精神的・社会的に全人的な存在としてとらえ、人々の健康について探究し、健康と福祉の向上に寄与する学問領域です。弘前大学大学院保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）では、この学際的な学問領域を進歩・発展させるとともに、保健学の領域における教育と研究を通して、その成果を社会に還元し、人類の健康と福祉の向上に寄与することを基本理念とします。

#### （2）教育目標

##### ① 研究者としての能力開発

保健学に係わる学際的研究をエビデンスの探究という視点から専門の枠を超えて実践し、その結果を世界に向けて発信できる人材を育成します。

##### ② 教育者の育成

大学及び大学院において教育指導に寄与でき、地域社会において科学的方法論に基づいた健康教育を実践できる人材を育成します。

##### ③ 高度な専門知識・技術を身に付けた指導者の育成

高度な専門知識と技術を身に付け、チームの指導者として課題を選択・研究し、その解明に寄与できる人材を育成します。

##### ④ 地域保健医療活動推進能力の育成

地域保健活動の場において指導的役割を果たす立場の者を教育・指導・支援できる人材の育成を目指します。

### 2 求める学生像

- ・人々の健康を保持増進し、生活の質の向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進められる学生
- ・高度な専門性、倫理性を身に付け、自らの専門性を深化・発展させることのできる学生
- ・科学的根拠に基づいた保健学を実践・発展させる上で不可欠な、“エビデンスの探究・蓄積”ができる学生
- ・未解明の問題のエビデンスを探究するため、学際的連携や多専門職による職種を越えた協働・研究を展開できる学生

### 3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- ・高度な専門知識と技術を基盤として理論やエビデンスを追求するための基礎的知識と方法論
- ・理論やエビデンスに対応した実践の展開や新しい技術を開発するための基礎的知識と方法論
- ・多専門職の連携によるチーム医療を実践し、新しい視点と戦略をもってリーダーシップを発揮できるための基礎的知識と方法論

### 4 入学者選抜方針

総合的学力及び研究に対する探求心、意欲等を評価するために、筆記試験（英語）及び口述試験の結果を総合して選抜します。

（提出書類は、口述試験の基礎資料として使用します。）

## 【看護学領域】

### 1 概要

看護学の幅広い学識と高度な専門知識と倫理性を深め、教育・研究者として独創的・学際的な研究を自立的に進め、人々の健康を保持増進し、生活の質（QOL）向上に向けて科学的根拠に基づき実践できる人材の育成を目指しています。

## 2 求める学生像

- ・看護学領域に関する高度な知識と技術を基に、健康の保持増進と生活の質向上に向けた取り組みを実践できる人
- ・修得した知識と教育・研究能力を活かして、保健・医療チームの中でリーダーとして活躍できる人
- ・論理的思考力を基に、学際的な研究に自律的に取り組み、看護学の発展に寄与できる人

### 【放射線技術科学領域】

#### 1 概要

人間の“生命活動”に係わる生体情報や生体機能について、科学的解析手法を駆使してエビデンスを追究し、サイエンスとしての放射線技術科学の更なる深化を図るとともに、今日的な保健医療の課題に対して、職種の枠を越えて相補的に連携・協働し、特定領域に縛られない新しい発想と創造的思考力を持った人材の育成を目指しています。

## 2 求める学生像

- ・放射線技術科学に関わる教育・研究者を目指す人
- ・高度な専門知識と技能を持った臨床研究者を目指す人
- ・先端的な放射線技術科学の知識及び技術を学びたい人

### 【生体検査科学領域】

#### 1 概要

分子、細胞レベルから個体に至る幅広い観点で生命現象を理解し、広範な生命科学領域における多様な問題を解決するための独創性と実行力を兼ね備えた人材を育成することを目的としています。このような人材育成を目的に、生命現象の分子レベルでの理解を基盤として、生体機能及び病因・病態解析に係る教育・研究を行います。

## 2 求める学生像

- ・生体検査科学に関連する教育を行う大学あるいは大学院における教育・研究指導に意欲のある人
- ・保健・医療の現場において、高い倫理観と高度な専門知識を持った実行力のある人
- ・指導的・専門的立場から課題を見つけ、グローバルな観点から自立的な研究を行うことができる人

### 【総合リハビリテーション科学領域】

#### 1 概要

理学療法学及び作業療法学を基盤としたリハビリテーション科学領域の幅広い学識と高度な専門知識および倫理性をさらに深め、人々の健康の維持・増進、運動・精神障害の予防と軽減、生活の質（QOL）の向上を目的とした科学的根拠に基づくリハビリテーション（Evidenced Based Rehabilitation）を実践・発展させていく上で不可欠な、“未解明のエビデンスの探究・蓄積”ができる人材の育成を目指しています。

## 2 求める学生像

- ・リハビリテーション科学領域に関する高度な知識と技術を基に、健康の維持・増進と生活の質向上に向けた取り組みを実践できる人
- ・修得した知識と教育・研究能力を活かして、保健・医療チームの中でリーダーとして活躍できる人
- ・既成概念にとらわれない発想と論理的思考力を基に、学際的な研究に自律的に取り組み、保健学を発展させていける人

# I 一般選抜（2026年度春季入学）

## I-1 募集人員等

保健学研究科博士後期課程は、看護学領域、放射線技術科学領域、生体検査科学領域、総合リハビリテーション科学領域の4つの領域と被ばく医療コースを設置しています。募集人員は12名です。

表1

専攻	領域	学位	募集人員
保健学専攻 (博士後期課程)	看護学	博士 (保健学)	12名  (募集人員には、被ばく医療コースの募集人員も含まれます。)
	放射線技術科学		
	生体検査科学		
	総合リハビリテーション科学		

- 学生募集は、第1期と第2期に分けて募集します。入学志願者は、第1期と第2期の両方を受験することができます。募集人員は、第1期と第2期の合計数です。  
ただし、第1期募集の選考の結果、募集人員に達した場合は第2期募集を実施しない場合があります。
- 出願に際しては、必ず志望する領域の担当教員に教育研究内容等について問い合わせのうえ、出願してください。
- 教員の教育研究内容については、15～18ページの表10-①～④「各領域の担当教員と研究テーマ」を参照してください。

## I-2 出願資格

出願できる者は、次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者又は2026年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2026年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2026年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2026年3月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示118号）<sup>注1)</sup>
  - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
  - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに24歳に達する者<sup>注1)</sup>

注1) 出願資格(5),(6)により出願を希望する者は、出願に先立ち、個別の出願資格審査が必要です。2ページ「I-5 出願資格の認定審査」の項を参照してください。

注2) 外国人留学生が一般選抜で出願する場合は、出願書類及び試験科目等に若干異なる部分があるので、事前に本学保健学研究科学務グループまで問い合わせてください。

### I-3 事前相談

- 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする指導教員と電話、e-mail等で連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談してください。
- 指導教員については、15~18ページの表10-①~④「各領域の担当教員と研究テーマ」を参照してください。
- 被ばく医療コースについては、13ページの「III-5 被ばく医療コースについて」の項を参照してください。  
なお、被ばく医療コースを希望する際は、事前相談の際に、指導を受けようとする指導教員に被ばく医療コースの選択が可能か確認し、選択することについて了解を得てから出願してください。
- 不明な点や質問がある場合は、問い合わせてください。

### I-4 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

社会人入学者のために、大学院設置基準第14条による昼夜開講制の導入など、社会人が働きながら学べるシステムが用意されています。

### I-5 出願資格の認定審査

出願資格(5),(6)により出願を希望する者は、あらかじめ個別に出願資格の認定審査を受けてください。

#### 1. 認定基準

- 一般選抜の(5)により出願  
大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了後、大学・研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、学術論文、著書、研究発表等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認める者
- 一般選抜の(6)により出願  
大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程又は、各種学校を修了し、又は外国において学校教育における14年の課程を修了後、2026年3月31日までに医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において4年以上(通算可)、15年の課程を修了した者は3年以上(通算可)、大学を卒業した者は2年以上(通算可)の専門的な実務及び研究実績があり、学術論文、著書、研究発表等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認める者

#### 2. 提出書類

出願資格(5)により出願しようとする者は、表2の書類を提出してください。

表2

①出願資格認定申請書	本研究科所定の様式(出願資格用A)をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。
②成績証明書	出身大学の長等が作成し、 <b>厳封</b> したもの
③卒業証明書	出身大学の長等が作成したもの

④研究歴証明書	在籍もしくは在籍した機関の長等が作成したもの
⑤研究業績調書	本要項に添付の所定の用紙（出願資格用B） なお、筆頭著者である査読付き論文については、別刷りを添付してください。
⑥研究指導担当希望教員の推薦書（注）	志願者は、保健学研究科の指導教員と連絡を取り、研究計画などについて相談し、希望指導教員（受入教員）から受入れの推薦を受けてください。
⑦審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、110円分の切手を貼付したもの

（注）出願書類の⑥推薦書については、以下のような手順を踏んでください。

- 保健学研究科の教員の中から、希望指導教員を選定してください。志願者は、e-mailで保健学研究科学務グループに連絡するとともに、希望指導教員に直接コンタクトを取ってください。
- 希望指導教員と密接な連絡を取り、研究計画の指導などを受け、必ず出願の前に受入の承諾を得てください。
- 推薦書（所定様式）は希望指導教員が提出しますので、志願者は希望指導教員に提出の確認を行ってください。

出願資格（6）により出願しようとする者は、表3の書類を提出してください。

表3

①出願資格認定申請書	本研究科所定の様式（出願資格用A）をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。
②最終学校成績証明書	出身校の長等が作成し、 <b>厳封</b> したもの
③最終学校卒業証明書	出身校の長等が作成したもの
④出身学校の規程等	卒業要件（在学期間・授業科目・単位数）の記載されたもの及び卒業に必要な授業科目のシラバス等（授業内容が記載されたもの）
⑤在職期間等証明書	在職期間及び職種について、勤務先の所属長が作成した証明書（様式任意） ※出願資格である実務及び研究実績期間が証明できるもの
⑥研究業績調書	本要項に添付の所定の用紙（出願資格用B） なお、筆頭著者である査読付き論文については、別刷りを添付してください。
⑦研究指導担当希望教員の推薦書（注）	志願者は、保健学研究科の指導教員と連絡を取り、研究計画などについて相談し、希望指導教員（受入教員）から受入れの推薦を受けてください。
⑧審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し110円分の切手を貼付したもの

（注）出願書類の⑦推薦書については、以下のような手順を踏んでください。

- 保健学研究科の教員の中から、希望指導教員を選定してください。志願者は、e-mailで保健学研究科学務グループに連絡するとともに、希望指導教員に直接コンタクトを取ってください。
- 希望指導教員と密接な連絡を取り、研究計画の指導などを受け、必ず出願の前に受入の承諾を得てください。
- 推薦書（所定様式）は希望指導教員が提出しますので、志願者は希望指導教員に提出の確認を行ってください。

### 3. 申請期間

- 【第1期募集】 2025年6月16日（月）から2025年6月20日（金）17時まで（必着）
- 【第2期募集】 2025年11月4日（火）から2025年11月7日（金）17時まで（必着）

#### 4. 提出先

〒036-8564 弘前市本町66番地1 弘前大学保健学研究科学務グループ

#### 5. 認定結果通知

審査の結果は、下記期日までに申請者あてに郵送により通知します。

【第1期募集】 2025年7月9日(水)

【第2期募集】 2025年11月26日(水)

### I-6 出願手続等

#### 1. 出願期間

【第1期募集】 2025年7月14日(月)から2025年7月18日(金)17時まで(必着)

【第2期募集】 2025年12月8日(月)から2025年12月12日(金)17時まで(必着)

#### 2. 出願方法

検定料を払い込むために必要な書類(払込取扱票)を除いた入学志願票等の所定用紙を、保健学研究科ホームページ([https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d\\_entrance](https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance))からダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入してください。

払込取扱票は(所定用紙を印刷できない場合は所定用紙も)、保健学研究科学務グループに請求して取り寄せる必要があります。請求方法は、最終ページの「お知らせ」を参照してください。なお、払込取扱票の取扱期間は、出願期間初日の1週間前から出願期間最終日までとします。

出願手続時は、4~5ページ表4の出願書類を一括取り揃え所定の期日までに提出してください。なお、出願書類等を郵送する場合は書留郵便とし、出願書類提出用宛名を印刷し、角形2号封筒に貼付の上、郵送してください。

#### 3. 出願上の注意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学保健学研究科学務グループまで連絡してください。
- 出願に関して不明な点がある場合は、入学検定料を払い込む前に問い合わせてください。
- 受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。
- 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

### I-7 出願書類等

表4 一般選抜 出願書類一覧

出 願 書 類	摘 要	
①入学志願票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。	◎
②受験票・写真票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。 所定の箇所に写真(3ヶ月以内に撮影した、縦4cm×横3cm上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡をかけて撮影)をそれぞれ貼付したもの	◎
③成績証明書	ア 出身大学院研究科長等が作成し、 <b>厳封</b> したもの イ 出願資格(5)、(6)の者は不要	○
④修士課程修了(見込み)証明書等	ア 出身大学院研究科長等が作成したもの イ 出願資格(5)、(6)の者は入学試験資格審査結果(写)	○

⑤修士の学位論文等	ア 修士の学位を有する者は、修士論文の写し1部又はその要旨1部。要旨は1,600字程度でA4判用紙2枚程度（様式任意）にまとめてください。 イ 修士の学位を取得する見込みの者は、研究経過報告書（研究計画及び修士論文の進捗状況）を2,000字程度A4判用紙4枚（様式任意）にまとめてください。 ウ 出願資格(5), (6)の者は不要	○
⑥志望理由書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。	◎
⑦研究計画書	研究の課題、動機、目的、方法についてA4判用紙2枚（様式任意）にまとめてください。	◎
⑧研究業績調査書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。	◎
⑨検定料	30,000円を本研究科所定の払込票（ <b>本学に請求して取り寄せること。</b> ）により最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。払込済の「振替払込受付証明書（お客様用）」を所定の貼付台紙に貼り付けて提出してください。 （注）2026年3月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程に進学する者は、払込みを要しません。	◎
⑩受験票送付用封筒	長形3号の封筒に、志願者の氏名、住所、郵便番号を明記し、110円分の切手を貼付してください。	◎
⑪あて名票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、志願者の住所・氏名を記入してください。	◎

注1) ◎は必須、○は該当者のみ提出する書類です。

注2) 出願資格審査において、その資格を認定された者は、上記③、④及び⑧の出願書類を提出する必要はありません。

注3) 外国人留学生は、国籍及び在留資格を確認できる書類で証明した氏名を、すべての出願書類に記入してください。

注4) 証明書の姓が旧姓となっている場合は、現在の姓との関係を証明できる公的文書（戸籍抄本等）を添付してください。

## I-8 入学者選抜方法

### 1. 入学者選抜方法について

- 一般選抜は、筆記試験（英語）、口述試験及び提出書類により総合的に判定します。

### 2. 筆記試験（英語）について

- 保健医療全般に係わる英文情報の理解を問う問題とします。
- 英和辞書（1冊）の持ち込みを認めます。ただし、電子辞典及び専門用語辞典等は不可とします。

### 3. 口述試験について

- 研究者としての適性を問います。

## I-9 選抜試験の日時及び試験会場等

【第1期募集】 2025年8月29日（金）

【第2期募集】 2026年1月30日（金）

ただし、第1期募集の選考の結果、募集人員に達した場合は第2期募集を実施しない場合があります。

表5

選 抜 区 分	試験科目等	時 間	試 験 場
一 般 選 抜	英 語	10：00～11：30	弘前大学大学院 保健学研究科校舎
	口述試験	12：30～	

## II 外国人留学生特別選抜（2026年度春季入学）

### II-1 募集人員等

保健学研究科博士後期課程は、看護学領域、放射線技術科学領域、生体検査科学領域、総合リハビリテーション科学領域の4つの領域と被ばく医療コースを設置しています。

表6

専攻	領域	学位	募集人員
保健学専攻 (博士後期課程)	看護学	博士 (保健学)	若干名
	放射線技術科学		
	生体検査科学		
	総合リハビリ テーション科学		

※募集人員には、被ばく医療コースの募集人員も含まれます。

### II-2 出願資格

日本国籍を有しない者で、以下の基本要件をすべて満たし、該当要件のいずれかの出願資格を有する者。なお、日本語については日常会話程度の能力があることが望ましい。

#### 【基本要件】

- A. 入学後に研究指導担当を希望する本研究科教員の推薦書により能力・学力があると保証された者
- B. 日本の入国管理及び難民認定法において大学院の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者
- C. CEFRL (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment) 換算でB1以上の英語能力を有する者

#### 【該当要件】

- (1) 外国において修士の学位又は専門職学位を有する者又は2026年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は2026年3月までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示118号）<sup>注1)</sup>  
外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (4) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに24歳に達する者<sup>注1)</sup>

注1) 該当要件(3)、(4)により出願を希望する者は、出願に先立ち、個別の出願資格審査が必要ですので、8ページ「II-4 出願資格の認定審査」の項を参照してください。

## II-3 事前相談

- 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする指導教員と電話、e-mail等で連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談・指導を受け、受け入れの承諾と推薦の了解を得てください。
- 指導教員については、15～18ページの表10-①～④「各領域の担当教員と研究テーマ」を参照してください。
- 被ばく医療コースについては、13ページの「III-5 被ばく医療コースについて」の項を参照してください。  
なお、被ばく医療コースを希望する際は、事前相談の際に、指導を受けようとする指導教員に被ばく医療コースの選択が可能か確認し、選択することについて了解を得てから出願してください。
- 不明な点や質問がある場合は、問い合わせてください。

## II-4 出願資格の認定審査

該当要件（3）、（4）により出願を希望する者は、あらかじめ個別に出願資格の認定審査を受けてください。

### 1. 提出書類

該当要件（3）により出願しようとする者は、表7の書類を提出してください。

表7

①出願資格認定申請書	本研究科所定の外国人留学生一様式Aに必要事項を記入して提出してください。
②成績証明書	出身大学の長等が作成し、 <b>厳封</b> したもの
③卒業証明書	出身大学の長等が作成したもの
④研究歴証明書	在籍もしくは在籍した機関の長等が作成したもの
⑤研究業績調書	本研究科所定の外国人留学生一様式Bに必要事項を記入して提出してください。

該当要件（4）により出願しようとする者は、表8の書類を提出してください。

表8

①出願資格認定申請書	本研究科所定の外国人留学生一様式Aに必要事項を記入して提出してください。
②最終学校成績証明書	出身校の長等が作成し、 <b>厳封</b> したもの
③最終学校卒業証明書	出身校の長等が作成したもの
④出身学校の規程等	卒業要件（在学期間・授業科目・単位数）の記載されたもの及び卒業に必要な授業科目のシラバス等（授業内容が記載されたもの）
⑤在職期間等証明書	在職期間及び職種について、勤務先の所属長が作成した証明書（様式任意） ※該当要件（4）を証明できるもの
⑥研究業績調書	本研究科所定の外国人留学生一様式Bに必要事項を記入して提出してください。

## 2. 申請期間

【第1期募集】 2025年 6月16日（月）から 2025年 6月20日（金）17時まで（必着）

【第2期募集】 2025年11月 4日（火）から 2025年11月 7日（金）17時まで（必着）

## 3. 認定結果通知

審査の結果は、下記期日までに申請者あてに郵送により通知します。

【第1期募集】 2025年 7月 9日（水）

【第2期募集】 2025年11月26日（水）

## II-5 出願手続等

### 1. 出願期間

【第1期募集】 2025年 7月14日（月）から 2025年 7月18日（金）17時まで（必着）

【第2期募集】 2025年12月 8日（月）から 2025年12月12日（金）17時まで（必着）

### 2. 出願方法

志願者は、次の出願書類等を取りそろえ、必ず国際スピード郵便（EMS）等受付番号の控えが発行される方法で郵送し、封筒の表に「大学院保健学研究科 博士後期課程 外国人留学生特別選抜 出願書類等在中」と朱書きしてください。

### 3. 出願上の注意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学保健学研究科学務グループまで連絡してください。
- 出願に関して不明な点がある場合は、入学検定料を払い込む前に問い合わせてください。
- 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

### 4. 検定料の納入方法

次の要領に従って、検定料30,000円を海外の金融機関より送金してください。なお、送金には時間がかかりますので早めに手続を行ってください。送金は必ず出願期間の最終日までに指定口座に到着するように行ってください。

#### <送金関連事項>

【送金種類】 電信送金  
【支払方法】 口座振込  
【支払手数料】 依頼人負担  
【送金金額】 30,000円  
【送金目的】 検定料

#### <送金先>

【金融機関名】 青森みちのく銀行 (Aomori Michinoku Bank Ltd)  
【支店名】 親方町支店 (Oyakatamachi Branch)  
【口座の種類】 普通  
【銀行住所】 〒036-8191 青森県弘前市親方町19  
(19 Oyakatamachi, Hirosaki Aomori, 036-8191 Japan)  
【スワフトコード】 AOMBJPJT  
【口座番号】 201-1228599  
【口座所有者名】 国立大学法人弘前大学 学長 福田 眞作 (Hirosaki University)  
【口座所有者住所】 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地  
(1 Bunkyo-cho, Hirosaki Aomori, 036-8560 Japan)

【口座所有者電話番号】 0172-36-2111

- ※ 送金依頼人は志願者の氏名としてください。
- ※ 日本国外から振り込む場合、振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要になります。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となります。
- ※ 日本国内取引手数料については、銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定してください。  
もし指定が行われなかった場合、青森銀行で取引手数料が差し引かれるため、弘前大学への入金  
金が不足となります。  
この場合、入学検定料を支払ったとはみなされませんので注意してください。
- ※ 送金後、入学検定料送金確認票（外国人留学生一様式3）を他の出願書類とともに提出して  
ください。

## II-6 出願書類等

表9 外国人留学生特別選抜 出願書類一覧

- ※ 保健学研究科ホームページ上から英語版の出願書類（様式1～8，A，B）をダウンロード  
できます。 URL: [https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d\\_entrance](https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance)
- ◎は必ず提出する書類，○は該当者のみ提出する書類

出 願 書 類	摘 要	
①外国人留学生特別選抜 入学志願票	外国人留学生一様式1に必要事項を記入，写真を貼付して提出してください。	◎
②受験票・写真票	外国人留学生一様式2に必要事項を記入して提出してください。 なお，写真(縦4cm×横3cm)は，出願前3か月以内に撮影した正面，無帽， 上半身，背景なしのものを指定欄に貼ってください。	◎
③履歴書	外国人留学生一様式3に必要事項を記入して提出してください。	◎
④成績証明書	ア 出身大学院研究科長等が作成し， <b>厳封</b> したもの イ 該当要件(3)，(4)の者は不要	○
⑤検定料及び入学検定料 送金確認票	入学検定料30,000円を指定振替口座に送金してください。また，入学検 定料送金確認票（外国人留学生一様式4）に必要事項を記入のうえ， 提出してください。	◎
⑥修士課程修了（見込み） 証明書等	ア 出身大学院研究科長等が作成したもの イ 出願資格(3)，(4)の者は入学試験資格審査結果（写）	○
⑦修士学位論文要旨又は 研究経過報告書	ア 修士の学位を有する者は，修士論文の写し1部とその要旨（日本語2,000 字、英語500語）を外国人留学生一様式5にまとめてください。 イ 修士の学位を取得する見込みの者は，研究経過報告書（研究計画及び修士 論文の進捗状況）を外国人留学生一様式5にまとめてください。 ウ 出願資格(3)，(4)の者は不要	○
⑧研究業績及び英語能力調書	ア 上記修士論文以外の著書，学術論文，研究報告，特許などの研究業績につ いて，外国人留学生一様式6の必要事項を記入して提出してください。 (注1) 著書，学術論文などの別刷り又はコピーを添付してください。 学術論文について，投稿中のものは不可とします。ただし，掲載受理され たものは原稿（写）及び受理証明書（アクセプト）をもって可とします。 イ 英語能力試験（TOEIC，TOEFL，IELTS，又はDuolingo English Test）の 結果を外国人留学生一様式6に記入し，試験の公式スコア票の写しを提出し てください。提出できる結果がない場合は，一般選抜で出願してください。	◎
⑨研究計画書	外国人留学生一様式7に必要事項を記入して提出してください。 (日本語の場合は2,000字以内，英語の場合は500語以内とします。)	◎

⑩推薦書	出身大学の指導教員等又は官公庁・会社等に在職する者は所属長若しくはこれに準ずる者が作成した推薦書（様式任意）	◎
⑪研究指導担当希望教員の受入承諾・推薦書（注）	志願者は、保健学研究科の指導教員と連絡を取り、研究計画などの指導を受け、希望指導教員（受入教員）から受入れの承諾と推薦を受けてください。 ※希望指導教員（受入教員）は、外国人留学生一様式8に必要事項を記入、サインをしたうえで、希望指導教員（受入教員）と志願者との連絡経緯が分かる書類（手紙、メールなどのやり取りのコピー）とともに提出してください。	◎
⑫住民票等	市区町村発行の住民票 （受験のために来日する場合は旅券の写し） ※国費外国人留学生は、在学する大学発行の「国費外国人留学生証明書」も添付すること。	◎
⑬あて名票	合格通知書、入学手続書類などを送付する際に使用しますので、志願者はあて名票（外国人留学生一様式9）すべてに、郵便番号、住所及び氏名を正確に記入し、他の出願書類とともに提出してください。 なお、出願後に住所などが変更になった場合は、速やかに学務グループまで連絡してください。	◎

※ 提出する書類が英語以外の外国語の場合は、日本語または英語に訳したものを添付してください。

（注）出願書類の様式8については、以下のような手順を踏んでください。

- 保健学研究科の教員の中から、希望指導教員を選定してください。志願者は、e-mailで保健学研究科学務グループに連絡するとともに、希望指導教員に直接コンタクトを取ってください。
- 希望指導教員と密接な連絡を取り、研究計画の指導などを受け、必ず出願の前に受入の承諾を得てください。
- 様式8は希望指導教員が提出しますので、志願者は希望指導教員に提出の確認を行ってください。

## II-7 入学者選抜方法

入学者の選抜は、出願書類及び口述試験により判定します。口述試験は英語で行います。

入学試験を受験するために来日することが困難な外国人は、本学保健学研究科学務グループまで問い合わせてください。

## II-8 選抜試験の日時及び試験会場等

【第1期募集】 2025年8月29日（金）

【第2期募集】 2026年1月30日（金）

ただし、第1期募集の選考の結果、募集人員に達した場合は第2期募集を実施しない場合があります。

選抜区分	試験科目等	時間	試験場
外国人留学生 特別選抜	口述試験	12:30～	弘前大学大学院 保健学研究科校舎

## Ⅲ 合格発表・諸手続き・制度

### Ⅲ－１ 合格発表

【第1期募集】 2025年 9 月 19日（金）午前10時（予定）

【第2期募集】 2026年 2 月 13日（金）午前10時（予定）

- 保健学研究科ホームページ（<https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/>）で発表するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
- 電話等による可否の問い合わせには応じておりません。

### Ⅲ－２ 入学手続等

入学手続の詳細（手続期間、提出書類など）については、合格者に別途通知します。

外国人留学生特別選抜合格者は、必要な書類を郵送（EMS便）又は持参により提出するとともに、入学手続期間内に「銀行振込」により入学料を納入してください。

#### 1. 入学に要する経費

- 入学料 282,000円（予定）

注1）納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

注2）授業料は、年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）（予定）です。

授業料前期分は5月31日、後期分は10月31日までに納付してください。

注3）入学時までに入学金及び授業料の改定が行われた場合は、それぞれ改定後の額となります。

#### 2. 入学料・授業料免除等について

入学料・授業料免除等に関する情報については、本学HPを確認してください。

令和8年度以降の免除制度については、令和7年度中に改定が予定されているため、十分に留意してください。（[https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/menjo/admission\\_gs/](https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/menjo/admission_gs/)）

#### 3. 奨学金について

学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため就学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する日本学生支援機構の奨学金制度があります。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家庭の経済的事実等を審査し、選考のうえ、日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

上記のほか、自治体や民間の奨学金、本学独自の奨学金も利用できます。

#### 4. TA・RA制度について

弘前大学大学院保健学研究科に在学する学生に対し、教育的配慮の下に教育補助業務を行わせ、学生が将来教員・研究者になるためのトレーニングの機会とするティーチング・アシスタント（TA）制度や、本研究科教員が行う研究活動の補助業務を行わせ、若手研究者としての研究遂行能力の育成を目的とするリサーチ・アシスタント（RA）制度があります。これらの制度では学生の経済的な支援も目的の一つとなっており、TA及びRAに採用されると手当が支給されます。

### Ⅲ－３ 長期履修制度について

- この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。指導教員に相談のうえ、所定の期日（合格者に別途通知）までに手続きをしてください。

なお、在学途中における長期履修学生への変更は、規程により認められない場合があります。

#### 1. 対象者

職業を有している者（自営業、臨時雇用、非常勤等を含む。）とします。

## 2. 長期履修期間

3年を限度とします。

したがって、教育課程を履修する期間（修業年限）は、4年、5年又は6年となります。

## 3. 申請方法

「入学志願票」の該当欄に必要事項を記入してください。申請書は入学手続き書類と合わせてお渡しします。

## 4. 結果通知

申請者に対し、入学後に長期履修についての結果を通知します。

## 5. 授業料

1) 年額の授業料は次のとおりです。

$(\text{学則に定められた授業料年額}) \times \text{標準修業年限 (3年)} \div \text{許可された修業年限 (4年, 5年又は6年)}$

= 長期履修者の場合の年間授業料

2) 授業料の決定は、長期履修結果通知時（入学後）に行いますので、長期履修を希望する場合は、入学手続き時に授業料を納入しないでください。

3) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。その際は、改めて通知します。

### Ⅲ－4 個人情報保護について

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項ならびに入学後の学務業務における学籍・成績管理、入学者選抜や教育課程改善のための調査・研究を行うためにのみ利用します。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に利用しません。

### Ⅲ－5 被ばく医療コースについて

被ばく医療コースの人材育成の目的、到達目標は以下のとおりです。

なお、本研究科博士前期課程被ばく医療コースを修了済みの者に限り、所定の単位を修得するとともに、放射線に関する博士論文審査及び最終試験に合格することにより「被ばく医療指導士」の称号が付与されます。

#### <目的>

放射線にかかわる緊急被ばく医療における高度な教育者および研究者を養成し、本分野の学問の発展に貢献できる人材を育成する。

#### <到達目標>

- ① 緊急被ばく医療に関する高度な専門的知識と技術を習得する。
- ② 緊急被ばく医療分野において求められる研究手法を習得し、これを展開できる。

### Ⅲ－6 その他

1) 身体に障害を有する志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願に先立ち、あらかじめ申し出てください。

その他、出願に際して疑問又は不明の点があれば、問い合わせてください。

2) 弘前大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「弘前大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、出願希望者は、出願前に希望指導教員と連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談・指導を受けること。

3) 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合は、受験できません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限

りではありません。

上記の理由により受験できなかった場合、追・再試験や別室受験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。

### Ⅲ－７ 書類提出先・問い合わせ先

〒036-8564 青森県弘前市本町 66 番地 1 <b>弘前大学保健学研究科学務グループ</b> TEL 0172-39-5911 FAX 0172-39-5912
---

## 2026年度 各領域の担当教員と研究テーマ

表 10-① 看護学領域

主指導教員	主 研 究 テ ー マ
教授 藤田 あけみ TEL 0172-39-5948 a_fujita@hirosaki-u.ac.jp	○がん患者と家族のQOLに関する研究 ○患者教育に関する研究
教授 井瀧 千恵子 TEL 0172-39-5974 itakichi@hirosaki-u.ac.jp	○原子力災害医療に関する研究 ○放射線リスクコミュニケーションに関する研究
教授 小倉 能理子 TEL 0172-39-5907 ogu1224@hirosaki-u.ac.jp	○看護師のキャリア形成，継続教育に関する研究 ○看護師の職務満足，職場環境に関する研究 ○患者教育に関する研究
教授 北宮 千秋 TEL 0172-39-5945 chiaki@hirosaki-u.ac.jp	○健康の保持，増進へ向けた保健活動に関する研究
教授 遠野 千佳子 TEL 0172-39-5947 tonochikako2978@hirosaki-u.ac.jp	○小児慢性骨髄性白血病の至適治療・管理に関する研究
教授 大津 美香 TEL 0172-39-5996 h_otsu@hirosaki-u.ac.jp	○看護ケア開発・標準化に関する研究 ○老年看護学教育に関する研究
教授 富澤 登志子 TEL 0172-39-5933 tmtott@hirosaki-u.ac.jp	○シミュレーション教育とアクティブラーニング ○クリティカルシンキングと看護診断 ○糖尿病および生活習慣病の療養支援 ○ICT、VRを用いた教育および教材開発 ○災害看護

表 10-② 放射線技術科学領域

主指導教員	主 研 究 テ ー マ
教授 床次 眞司 TEL 0172-39-5404 tokonami@hirosaki-u.ac.jp	○放射線計測技術・線量評価手法の高度化・標準化に関する研究 ○環境中の放射性物質・放射線の測定に係る評価並びに動態に関する研究 ○放射線防護体系構築のためのリスク解析研究（リスクコミュニケーション、疫学調査など）
教授 敦賀 英知 TEL 0172-39-5954 tsuru@hirosaki-u.ac.jp	○肺胞弾性線維の放射線照射による影響評価に関する研究 ○皮膚真皮の弾性系線維の形成機構に関する研究 ○眼球毛様体小帯の改造機構に関する研究 ○放射線治療の有効性向上に関する生物学的基礎研究 ○放射線細胞応答における細胞小器官の役割に関する研究
教授 高橋 康幸 TEL 0172-39-5917 ytaka3@hirosaki-u.ac.jp	○トレーサ情報解析に関する研究 ○SPECTおよびPET画像の画質改善に関する研究 ○診療放射線技師に係る法規に関する研究 ○医療被ばく線量の低減に関する研究 ○放射線緊急事態時の規制、安全管理等被ばく医療に関する研究
教授 工藤 幸清 TEL 0172-39-5958 kohsei@hirosaki-u.ac.jp	○X線診断機器の画質・性能評価および撮影線量の最適化に関する研究 ○医療従事者の水晶体被ばく線量推定に関する研究 ○地域保健医療に寄与するX線画像転送に関する研究
教授 赤田 尚史 TEL 0172-39-5405 akata@hirosaki-u.ac.jp	○バイオアッセイと内部被ばく線量評価に関する研究 ○環境・生体試料中トリチウム計測に関する研究 ○宇宙線生成核種を用いた地球表層における物質循環研究
教授 細田 正洋 TEL 0172-39-5956 m_hosoda@hirosaki-u.ac.jp	○環境中の放射線および放射性核種の計測・動態評価・線量評価に関する研究 ○原子力災害時における放射線計測手法の高度化および線量評価に関する研究
准教授 奥田 光一 TEL 0172-39-5921 okuda1@hirosaki-u.ac.jp	○臨床SPECT, PET画像の定量解析 ○機械学習・深層学習を用いた医用画像解析 ○モンテカルロシミュレーションによる放射線のイメージングおよび線量測定
准教授 門前 暁 TEL 0172-39-5959 monzens@hirosaki-u.ac.jp	○がん核医学療法における重要臓器を防護するための治療技術最適化に関する研究 ○がん放射線療法における骨髄抑制の発症抑制に関する臨床研究 ○新たな生物学的放射線被ばく線量定量法（バイオドシメトリ）の技術開発 ○非密封放射性同位元素を利用する汚染管理区域の管理業務最適化に関する研究
准教授 大森 康孝 TEL 0172-39-5244 ys-omori@hirosaki-u.ac.jp	○自然放射線による内部および外部被ばくに関する研究 ○原子力災害に起因する放射性物質の環境動態及び被ばく線量評価に関する研究 ○ラドンおよびトロン中の動態に関する研究
副指導教員	主 研 究 テ ー マ
助教 Kranrod Chutima TEL 0172-39-5434 kranrodc@hirosaki-u.ac.jp	○屋内外環境のラドン、トロン及びそれらの子孫核種からの吸入被ばく線量評価に関する研究 ○屋内放射性エアロゾルの動態評価に関する研究 ○ラドン、トロン及びそれらの子孫核種の計測のための品質管理と品質保証に関する研究
助教 小山内 暢 TEL 0172-39-5524 ominoru@hirosaki-u.ac.jp	○医療放射線の安全利用に関する研究
助教 寺島 真悟 TEL 0172-39-5525 s-tera@hirosaki-u.ac.jp	○Monte Carlo法を用いた医療被ばくの線量評価 ○Monte Carlo法による放射線治療における線量分布評価
助教 吉野 浩教 TEL 0172-39-5528 hyoshino@hirosaki-u.ac.jp	○放射線治療の有効性向上に関する生物学的基礎研究 ○放射線細胞応答における細胞小器官の役割に関する研究
助教 山口 平 TEL 0172-39-5961 masarun@hirosaki-u.ac.jp	○放射線被ばく個体の障害軽減に関する研究

表 10-③ 生体検査科学領域

主指導教員	主 研 究 テ ー マ
教授 丹藤 雄介 TEL 0172-39-5992 ytando@hirosaki-u.ac.jp	○疾患と栄養素代謝の変化 ○睪外分泌・消化吸収機能の研究 ○睪線維化, 炎症における細胞内情報伝達システムの解析
教授 山形 和史 TEL 0172-39-5932 kymgt@hirosaki-u.ac.jp	○造血器腫瘍における形態的特徴と予後の検討 ○血液疾患診断のためのAI解析技術の検討 ○造血器腫瘍と二次発がん発症における疫学的研究
教授 松宮 朋穂 TEL 0172-39-5916 tomo1027@hirosaki-u.ac.jp	○サイトカインストーム発症メカニズムの解明 ○SARS-CoV-2の自然免疫応答への影響 ○臓器特異的な新規画像検出マーカーの開発 ○抗ウイルスストレス顆粒の研究
教授 加藤 哲子 TEL 0172-39-5967 nor-kato@hirosaki-u.ac.jp	○婦人科系腫瘍の臨床病理学および分子病理学的研究 ○胚細胞腫瘍の組織発生に関する研究
教授 宮崎 航 TEL 0172-39-5955 miya@hirosaki-u.ac.jp	○発達・発育における環境因子(環境化学物質)の影響に関する研究 ○環境因子によるエピゲノム変化とその発現メカニズムの解明 ○リキッドバイオプシーによる臓器障害予測システムの開発
教授 三浦 富智 TEL 0172-39-5966 tomisato@hirosaki-u.ac.jp	○新規細胞遺伝学的被ばく線量評価法の開発 ○染色体異常に及ぼす背景因子の解析 ○医療被ばくおよび職業被ばくにおける染色体異常の解析 ○放射線被ばくの生物影響研究 ○抗菌性タンパク質の活性調節機構に関する研究 ○ヒアルロン酸合成の調節に関する研究
教授 田副 博文 TEL 0172-39-5503 tazoe@hirosaki-u.ac.jp	○重金属元素および放射性核種の生体内挙動および生物影響評価に関する研究 ○固相抽出法および自動化技術による放射性核種分析技術の高度化に関する研究 ○微量化学物質および同位体をトレーサーとする物質循環研究
准教授 堀江 香代 TEL 0172-39-5969 k-horie@hirosaki-u.ac.jp	○細胞外小胞内在因子に関する腫瘍マーカー及び, 予後・予知因子に関する研究 ○植物由来生理活性物質(フィトケミカル)による生活習慣病の予防
准教授 葛西 宏介 TEL 0172-39-5453 kokasai@hirosaki-u.ac.jp	○L-アミノ酸オキシダーゼの抗菌活性調節に関する研究 ○ヒアルロン酸合成に関わる酵素活性調節に関する研究 ○放射線生物影響評価(復興支援)
准教授 千葉 満 TEL 0172-39-5965 mchiba32@hirosaki-u.ac.jp	○細胞外小胞エクソソームの機能に関する研究 ○癌と機能性RNAに関する研究 ○癌浸潤・転移に関する研究 ○疾患の早期発見バイオマーカーに関する研究
講師 野坂 大喜 TEL 0172-39-5918 hnozaka@hirosaki-u.ac.jp	○マルチモーダルデータ統合による疾患診断アルゴリズムの開発 ○医療ビッグデータを活用したリアルワールドエビデンスの創出 ○AIと医用生体工学の融合による次世代診断支援システムの開発 ○説明可能な人工知能(XAI)を活用したAI診断技術の信頼性向上に関する研究 ○臨床検査AIモデルの公平性と倫理的課題の解決

表 10-④ 総合リハビリテーション科学領域

主指導教員	主 研 究 テ ー マ
教授 高見 彰淑 TEL 0172-39-5976 a-takami@hirosaki-u.ac.jp	○脳卒中患者の歩行機能評価、治療に関する研究 ○高次脳機能障害に関する研究 ○脳卒中患者の評価指標に関連する研究 ○がん、循環器疾患、小児疾患、呼吸器疾患など臨床上的の評価指標全般に関する研究
教授 對馬 栄輝 TEL 0172-39-5980 pteiki@hirosaki-u.ac.jp	○筋骨格系障害に対する運動学的な姿勢・動作の分析 ○筋電計を用いた筋機能評価と姿勢・運動分析への応用 ○健康・疾病・障害に対する疫学研究と統計的解析の活用 ○理学療法評価と治療に関する研究
准教授 吉田 英樹 TEL 0172-39-5975 ptyoshi@hirosaki-u.ac.jp	○物理療法の効果検証・新たな介入法の開発に関する研究 ○運動療法と物理療法の協働（併用・同時施行）の有効性に関する研究 ○物理療法を用いたヘルスプロモーション（精神・身体リラクゼーション、ストレスマネジメント、障害予防など）に関する研究 ○理学療法を基盤としたペインリハビリテーションに関する研究 ○理学療法の評価・治療全般に関する研究
准教授 田中 真 TEL 0172-39-5991 tanakam@hirosaki-u.ac.jp	○統合失調症者に対する精神科作業療法の有効性に関する研究 ○統合失調症患者の認知機能に関する研究
准教授 高橋 純平 TEL 0172-39-5977 junpei@hirosaki-u.ac.jp	○脳卒中患者の歩行自立判定に関する研究 ○基本動作，特に上肢を用いた立ち上がり動作に関する研究 ○理学療法における思考過程，臨床推論過程に関する研究 ○筋力トレーニング，ストレッチングを中心とした運動療法に関する研究 ○理学療法評価・治療に関する研究
講師 小枝 周平 TEL 0172-39-5990 ot_koeda@hirosaki-u.ac.jp	○発達障害を有する子どもの運動に関する研究 ○発達障害を有する子どもの栄養に関する研究 ○高齢者の精神医学的側面に関する研究 ○整形外科疾患の作業療法に関する研究

# お知らせ

## 募集要項の請求等について

1. 募集要項及び入学志願票等の所定用紙は、**検定料を払い込むために必要な書類（払込取扱票）を除き**、保健学研究科ウェブサイト ([https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d\\_entrance](https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance)) からダウンロードできます。

**払込取扱票**は（所定用紙を印刷できない場合は所定用紙も）、本学に請求して取り寄せる必要があります。

請求は、保健学研究科学務グループ窓口にて直接請求するか、郵送にて請求してください。郵送の場合の請求方法は、下記のとおりです。

	払込取扱票のみ請求する場合	募集要項全体（払込取扱票・各種所定用紙を含む）を請求する場合
送付する封筒に記載すること	「大学院保健学研究科（博士前期課程）払込取扱票請求」と朱書き	「大学院保健学研究科（博士前期課程）学生募集要項請求」と朱書き
同封するもの	返信用封筒：角形2号（A4サイズが入る大きさ） 返信先の郵便番号、住所、氏名を記載	
	140円分の切手を貼付（速達を希望する場合は440円分の切手）	320円分の切手を貼付（速達を希望する場合は620円分の切手）
請求先	弘前大学保健学研究科学務グループ 〒036-8564 青森県弘前市本町66番地1	

2. 過去に出題された試験問題は、保健学研究科ウェブサイト ([https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d\\_entrance](https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance)) にて公表しています。ただし、著作権の関係上、引用文については公表しておりません。

## 保健学研究科ホームページ

保健学研究科に関する詳しい情報が掲載されています。

URL：[https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d\\_entrance](https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance)

## 問合せ先一覧

事項	担当名	電話
○入学試験・教務に関すること	保健学研究科学務グループ	0172-39-5911
○入学料・授業料免除申請に関すること	学生課・経済支援担当	0172-39-3117, 3135
○学生寮に関すること	学生課・課外教育担当	0172-39-3107